

エクアシールド対応

～膀胱～

[GEM/4W] (ジェムザール)

【投与量】

ゲムシタピン :GEM(ジェムザール注) 1,000mg/m² 点滴静注 30分(day1、8、15)

【投与スケジュール】 4週ごと PDまで

	1	2	3	...	7	8	9	10	...	13	14	15	16	17	18	...	24	25	26	27	28 日目	
ジェムザール	●					●						●										

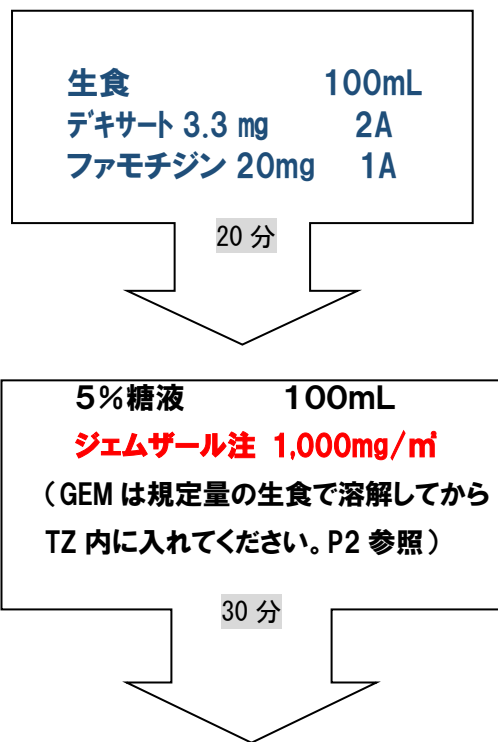
- ☆ 4週間を1コースとして繰り返し行います。
- ☆ 検査の結果で投与スケジュールや投与量が変更になることがあります。

【点滴内容】 day1、8、15

～末梢メイン～

生食 100mL
100mL/時間
ルート確保用です。
ルート確保後はとめて
頂き、ジェムザール投与
終了後フラッシュ用に
使用してください。

～側管より投与～



【フィルター】

✓ 不要

【ルートライン】

✓ 特に規制なし

【心電図モニター】

✓ 不要

【制吐薬適正使用ガイドライン 2015（一部改定版 ver2.2）】レジメンでのリスク：軽度リスク

➤ GEM：軽度リスク（Low emetic risk：催吐頻度 10～30%）

☞ 既往に DM がありデキサメタゾンの使用が難しい場合、デキサメタゾン→カイトリルバッグへの変更、など検討する。

【血管外漏出（対応については外来化学療法運用マニュアル p14 を参照）】

➤ ジェムザール（GEM）：炎症性薬剤（文献によっては非壊死性）

☞ 漏出時、ジェムザール注は**局所温庵（温める）**。

【調製時の注意点】

☞ ジェムザール注（GEM）

➤ 200mg バイアルは 5mL 以上、1g バイアルは 25mL 以上の生理食塩液に溶解して用いる。

➤ 溶液を冷蔵庫に保存すると結晶が析出することがあるので、保存する場合でも 15～30℃の室温で保存し、24 時間以内に使用する。

➤ エクアシールド対応バイアルアダプタ：（200mg バイアル、1g バイアル）VA-20

【留意点】

☞ ジェムザール（GEM）

➤ ゲムシタピンは海外で行われた第Ⅰ相試験において、週 1 回 60 分間点滴静注を行ったところ、高頻度に骨髄抑制や肝機能異常が認められたことから、点滴静注が 60 分以上となると毒性が増強するとされている。

➤ 注射部位の疼痛、灼熱感を生じることがある。GEM の血管痛を軽減する方法として、

・希釈倍率を上げる。

・太い血管を選択する。

・投与前、投与中に注射部位を温かいタオルで温める。

・なるべく細い針（23G など）を使用する。

・5%糖液で希釈する…などの方法がある。

☞ 当院の GEM のレジメンはあらかじめ希釈溶液を 5%糖液としている。

➤ 主な副作用は骨髄抑制、悪心、食欲低下、倦怠感、皮疹などがあるが、比較的毒性は少ないとされている。

➤ 発現頻度は 1～2%と少ないが GEM の重篤な副作用に間質性肺炎がある。

☞ 胸部単純 X 線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎または肺線維症のある患者には投与禁忌となっている。

【投与基準】

○ 肝機能

📖 ジェムザール（GEM）

- 肝機能低下時に推奨される減量基準はない。

○ 腎機能

📖 ジェムザール（GEM）

- 腎機能低下時に推奨される減量基準はない。

<減量の基準・目安>

- 血液毒性などによる減量基準に関しては適正使用ガイドなどを参照。減量に関しては以下の表を参照。

減量段階	GEM
通常投与量	1,000 mg/m ²
1 段階減量	800 mg/m ²
2 段階減量	600mg/m ²

【メーカー作成のパンフレットなど】

- 「ジェムザール」の投与を受けられる患者さまとご家族の方へ（日本イーライリリー）

【メモ】

- 近年、FOLFIRINOX や GEM+nab-PTX といった併用療法の有効性が確認されており、標準治療となっているが、GEM 単独療法は併用療法が適応とならない高齢者や全身状態が不良な患者に対する治療の選択肢となっている。

【レジメン登録日】

- 2010年12月7日
- 2021年2月1日（エクアシールド対応版に改定）

【登録医師】

- 中村 直 Dr（消化器内科）

【参考資料・参考文献】

- 📖 各薬剤添付文書・インタビューフォーム
- 📖 エビデンスに基づいた癌化学療法ハンドブック 2018 メディカルレビュー社
- 📖 がん化学療法レジメンハンドブック 改定第5版 日本臨床腫瘍薬学会 羊土社
- 📖 がん化学療法レジメン管理マニュアル 第2版 医学書院
- 📖 JCO 1997;15:2403